

『知っとお?! せっけんで守れるもん あるんやで!』

～安全で豊かな環境を未来の子どもたちへ～

せっけん運動ネットワーク主催で9/28・29 神戸ポートオアシスで開催されました。全国のせっけん運動を推進する団体が一堂に会し、基調講演、個別報告、パネルディスカッション、出展ブース、フィールドワークが催され熱気あるイベントでした。

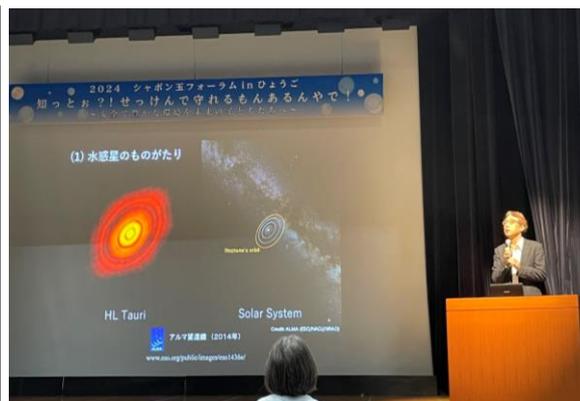
生活クラブ大阪からは、組合員の皆さんの貴重なカンパ応援を頂き、環境委員会と理事会から会場へ4名・オンラインで10名が参加しました。

■基調講演『水惑星の花崗岩のものがたり』奥地拓生さん(京都大学教授)

46億年前の地球誕生と、地球の水がどこから来たのか?との問いかけから始まりました。研究の結果、地球の水の起源は宇宙の含水鉱物(鉱物と水の反応物)という結論でした。

地球の液体としての水は海水、地下水、河川、湖沼を合わせてもわずかしがなく、地球のほとんどは大陸でできています。大陸は20枚ほどの大きなプレートで囲まれており、特に日本は4枚ものプレートで囲まれています。プレートが摩擦を起こし地震や火山噴火が起こります。

マグマが冷えて固まった花崗岩は地球にしかなく、ミネラルを多く含んだ含水鉱物であり生き物が生きていける環境を創り出しているという内容でした。



岩石は鉱物(ミネラル)の集合体
ダイヤモンドなど宝石も鉱物の仲間

*大陸は地球にしかなく、大陸は花崗岩という岩石でできている。

*花崗岩という岩石はたくさんの種類の違った特徴を持つ鉱物が集合してピッタリ隙間を埋めてできている。



地震によりプレートは海水を大量に地中に引き込み、高温と水により岩石を溶かすことでマグマができる。地中にある花崗岩は地震によって地表に出てくる。

人の体は岩石と同じミネラル構成!海から上がった生物はそれまで海水に溶けていたミネラルをそれ以外から取り込まなければ生きていけない。海のミネラルを引き込んだ花崗岩がミネラル接種に不可欠な存在になった。見えないところにも「水」があり、何よりもその水を美しく循環させることが大切だと改めて強く思った。

コケが花崗岩
を食べる?!

*空気中には、炭素、水素、酸素、窒素はあるが、その他のものは一切ない。

*陸上で栄養素としてのミネラルを体に取り込むためには、石のミネラルを取り込むしかない。

*コケや微生物は体の中から酸を出し花崗岩を溶かし、栄養素としてミネラル栄養素を摂取。

*コケが地表を覆い、やがて「土」ができた。「土」ができるというんな生き物ができてくる。

最初の生物は苔で、苔が岩石を食べて土ができたのは5億年前。そんな話を聞いていると、あたりまえのように身近にある土と水がとても貴重なものであり、大切にして、汚してはいけないとの思いを強くしました。

ダイヤモンド以外の鉱物は水を含んでいて、日本列島の地下には特に大量の「含水鉱物」が存在し、地表にある海水よりも多いそうです。花崗岩の地表に現れた部分が、水を磨く働きを持ち、ミネラル分を常に供給し続けるそうです。

■個別報告

- ①「自然の力を現代の生活に活かす」BMW技術協会
B（バクテリア）M（ミネラル）W（ウォーター）は、地球の自然循環や浄化作用の仕組みをモデルにした技術
- ②「水源の森を次世代へ」日本熊森協会
人類が生き続けるには、大型野生動物（熊）たちが造る保水力抜群の豊かな水源の森を生き物丸ごと残すことが必要
- ③「人と地球にやさしい『せっけん』を広めたい。せっけんを作るメーカーとしての思いや温泉地での取り組み等、50年の歩みのご報告」（株）地の塩社
黒川温泉での石けんシャンプーや石けん清掃洗浄剤導入の取り組み
- ④「環境を守りくらしを支える平池水上太陽光発電所」グリーンコープひょうご
原発フリー電気としての太陽光パネル設置
- ⑤「毎日の暮らしから考える未来」グリーンコープひょうご
BM菌体を使ったベランダコンポストの実験説明



オープニング



パネルディスカッション

分科会「今日の一步で未来が変わる ～森里海の繋がりを考察する～」

講師：富士村夏樹さん（生活アートクラブ 代表取締役）

創業の理念は「水環境を考える」です。

富士村さんの曾祖父は乳酸菌の研究で日本で初めてヨーグルトの製造に着手した人でもあります。

生活クラブで私が注文している「フィトン α 洗濯槽クリーナー」と「お部屋専用虫よけスプレー」がこの会社の材であることがわかりました。

講演は【人の腸内環境と地球環境の関係性】について。食糧の効率的な生産のために農薬に頼った農業が優先されており、それが地球の土壌がやせていく結果となり環境を変え、地球温暖化の原因となり災害につながっていることを知りました。

環境問題を考える事は経済発展の妨げになっているのではという考えもみられますが、その考えを変えていく【システムチェンジ】がいま早急に必要です。枝元なほみさん、BMW技術協会等、広範囲な交流を交えた説明がすべてつながっていると感じました。

地球の水、森、土の多様性とバランスを守る事が大事であり、いまの自分の生活で生協とつながって消費材を選んで購入することが「環境を守る今日の一步」であると確信できました。



ロビー出展
ブース



「便利を享受するだけでなく“引き算”で考える」という言葉が印象深かった。合成洗剤もそうで、石けんの不得意とする部分を忙しい現代に合わせて化学物質をどんどん添加していった結果、環境や肌にとって優しいとは言えない商品が多数出てきた。結局シンプルが一番と確信した。

そして「なるべく排水を出さない、電気を使わない」という意識が薄かったことに気付いた。いくら環境に良いとされているものを使ったとしても、そもそも環境負荷となるものをなるべく出さないことが地球を守ることに繋がる。

環境を守ることは大掛かりなことではなく、石けんやBMWを使うなど毎日できることはある。一人一人が小さなことから始めることで、やがて大きな力となって未来に美しい地球を残すことができることを忘れてはならないと感じた。